



モダン寺新聞
～ 今号の記事 ～

一口法話「お盆」	1 P
浄土真宗のお作法 「子供が生まれたらお寺へお参りをー」	2 P
神戸別院行事レポート	3 P
神戸別院法座案内	4 P

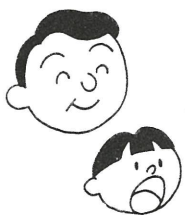
一口法話 「お盆」

毎年、八月のお盆の時期になるとご門徒さんから「お盆にはどのようなお飾りをすればよいのですか」ということを尋ねられることがあります。これはお盆には盆独特の飾り方があると思われることなのでしょう。中には一部の風習で「精霊棚」を作って、お膳を用意される所もあるようですが、浄土真宗ではそういったことはいたしません。

お盆の時でも一般の法要と同じように、お菓子、果物などのお供物を仏前にお供えし、前卓に打敷をかければよろしいでしょう。

そもそもお盆というのは、仏弟子の目蓮尊者が餓鬼道に堕ちた亡き母を救おうとして、その母に食べ物を与えるのですが救われず、お釈迦様のお導きで、衆僧に供養して初めて救われた、という故事から起こった行事なのです。お盆と言えば、いわゆる「先祖供養」と考え、しかも「特定の先祖のために」供養するもののように思いがちですが、亡くなられた方や、特定の先祖にお供物を捧げるというのではなく、自らが深く仏法に帰依して、限りなき仏様のおはたらきを仰いでいく、ということになるわけです。つまり、ご先祖のご恩に報いる道は私自身がお念仏を慶ぶ身となることなのです。ご先祖への報恩の思いから仏法を聞かせていただき、阿弥陀如来のお力によって救われていく身の幸せを慶ぶのが「お盆」なのです。

ご先祖への感謝と仏法を慶びましょう。



本願寺神戸別院 「盂蘭盆会」

日時 平成11年8月15日(日) 午後1時30分より

お盆には家族そろってお寺にお参りしましょう。



特集 「浄土真宗の作法」 第四回

「子供が生まれたらお寺へお参りを——」

赤ちゃんの誕生は、両親や家族にとって何ものにも代えがたい慶びの一つでしょう。人としてこの世に生を受けることは極めて得難いことであり、不思議なことしか言いようがありません。

このかけがえのない「いのち」がすくすくと育ってくれるように、また人として生まれてきた慶びを

かみしめつつ、わが子の人生の出発にあたり決して崩れることのない依りどころとなり支えとなってくださる如来様に参拝する式を「初参式」といいます。

初参式は、子供にとっての人生の始まりの仏縁です。さらに、親にとっても親として生きる出発点であり、子供によって与えられた仏縁なのです。

世間では、子供が生まれ一ヶ月ほどたつと「お宮参り」といって神社へお参りする人が多いようです。残念なことにお寺へお参りされる人は限られているのが現状で

す。これはどうしたことなのでしょう。多くの人の意識のなかに「死」に関わる悲しいことはお寺で、お祝い事はお宮さん」という気持ちがあるままに残っているからなのでしょう。「初参式」に限らず、「結婚式」もそういった意識の代表ではないでしょうか。

ともあれ「死」が大きな仏縁となるのと同様に「生」もまた尊い大きな仏縁となるのです。どうか「初参式」を人生にとっての大切



な大きな仏縁だと心得ていただきたいと思います。

なお、「初参式」は満一歳ぐらゐまでの適当な時期にお手次ぎのお寺、あるいは本山・別院にお参りください。その際、あらかじめお参りされるお寺には必ず連絡しておきましょう。中には「初参式」を行う日取りが決まっているお寺もありますので、詳しくはお手次ぎのお寺にお尋ねください。

六月三日(木)に氷上郡氷上町の中尾つかさ(司)ちゃんの初参式を行ないました。新たに仏縁を結んでいただいたつかさちゃんの成長を別院職員一同心から願っています。

浄土真宗のお勤め・お作法に

ついてのおたずねは

TEL 〇七八―三三一―五九九九

神戸別院まで

モダン寺 テレホン法話 (078) 341-8546

毎週月曜日ごとに法話の内容が変わります。

いつでも、どこでも聞いていただけます。



親鸞聖人降誕会

氷上西組 西光寺住職

中尾教雄

浄土真宗を開かれた親鸞聖人は承安三年（一一七三年）四月一日（新暦の五月二十一日）に京都伏見の日野の里でお生まれになりました。

この聖人のご誕生のお祝いのつどいが「降誕会」です。

日野の里では、江戸時代からご誕生をお祝いする行事が行われていたようです。

最近では、「誕生祝い」が一般化して、各家庭でも「今月は誰々の……」「今日は私の……」というように誕生日について深い関心を持っているので、親鸞聖人のお誕生日のことはよくご理解いただけるのではないかと思います。

元来、お寺というのは「暗い」「陰鬱」というイメージを与えがちですが、「明るく、楽しい場所」と印象づけるのが他でもないこの「降誕会」だと思います。

聖人を中心に、門信徒こそって、愉快に楽しく過ごす行事なのです。

この行事を通して、今までの観念を捨てて、お寺というのは「明るいところ」仏教は「楽しい教え」であることをお示しくださり、私たちに素晴らしい「お念仏」をお伝えくださった親鸞聖人様にお礼申し上げます。

神戸別院では五月十五日午後一時より、降誕会のおつとめをしました。

五月十一日には降誕会にお供えする「もち」をつきました。毎年、このもちつきは降誕会の前に行なっておりまして是非皆様のご参加をお待ちしています。



本願寺神戸別院名の石柱建立

平成七年九月の竣工より、本願寺神戸別院が新たに生まれ変わりましたが、地元神戸市民の方々からモダン寺の名で親しまれているが、正式な寺号がわからないので正式名がわかるものを作って欲しい、との要望があり、別院門徒篤志者佐藤恭也さんより「本願寺神戸別院」と彫られた石柱の進納をいただきました。尚、石柱正面には浄土真宗本願寺派豊原大成総長の揮毫により彫られている。



本堂で夕暮れコンサート開催

阪神・淡路大震災で被災された方々に心を癒してもらうことを目的として、震災以降、神戸別院本堂にて毎年開催してมาす「夕暮れコンサート」を四月二十七日にバイオリニスト古澤巖氏を招き開催いたしました。当日は本堂が満堂となり、終止なごやかな雰囲気の中で、約一時間半の演奏会が行なわれました。

今後毎年一、二回は開催する予定をしておりますので、多くの方にご参加いただきたいと思います。お待ちしております。

永代経法要に多くの参詣者来院

毎年神戸別院では、六月十五・十六日の二日間永代経法要をおつとめしています。本年も別院本堂で午後一時三十分より法要があり、参詣者全員の方に焼香をしていただき、法要終了後には、加東郡東条町西念寺住職・太田唯念師の御法話をいただきました。

〓本願寺神戸別院仏前結婚式〓

ご結婚おめでとう

4/18	新郎 木下 圭司さん 新婦 徳島 律子さん	5/1	新郎 坂井 健二さん 新婦 田中 祐代さん
5/8	新郎 浦上 栄一さん 新婦 蘭 香衣子さん	5/30	新郎 誓山 昌彦さん 新婦 菅沼 美歩さん
6/6	新郎 杉浦 浄澄さん 新婦 藤野 かやさん	6/12	新郎 谷口 裕康さん 新婦 笠間 輝恵さん
6/13	新郎 吉本 圭太さん 新婦 多田 法子さん	6/27	新郎 浅井 宣光さん 新婦 重本 文美さん

仏前結婚式の問合せ・申し込みは

本願寺神戸別院

078 (341) 5949

までどうぞ

納骨所残りわずか

神戸別院納骨所の数が、あと残りわずかとなりました。申込みをご希望の方はお早目にご連絡下さい。

特別 区画 (使用懇志三六〇万円以上)

特別壇小型区画 (使用懇志上段一〇〇万円以上)

(使用懇志下段九〇万円以上)

本願寺神戸別院行事・法座案内

平成11年8月

平成11年9月

平成11年10月

・第一土曜仏教講座

7日(土) 午後1時30分

「死を大切に」

講師 大阪教区島下組千里寺住職

本願寺派布教使

武田達城師

・仏教婦人会定例法座 休座

・別院定例法座 休座

・モダン寺暁天講座

1・2・3日(日・月・火) 午前7時

講師 1日……神姫組 光輪寺

2日……網干組 専念寺

3日……神戸中組 極楽寺

岡本幸信師

・孟蘭盆会

15日(日) 午後1時30分

講師 神戸別院輪番 高橋廣爾

・土曜講座

14・21・28日(土) 午後1時30分

講師 神戸別院職員

・第一土曜仏教講座

4日(土) 午後1時30分

「震災復興と住まいづくり」

――本堂に住みやすい住宅に

なっているか――

講師 神戸大学名誉教授・工学博士

早川和男師

・仏教婦人会定例法座

7日(火) 午後1時30分

講師 六栗郡 安楽寺

黒田真隆師

・別院定例法座

15・16日(水・木) 午後1時30分

講師 豊岡市 清蓮寺

應供乗生師

・秋季彼岸会

22・23・24日(水・木・金) 午後1時30分

講師 神戸市北区 行願寺

本願寺派布教使

久堀弘義師

・門信徒のつどい

23日(木)

・土曜講座

11・18・25日(土) 午後1時30分

講師 神戸別院職員

・第一土曜仏教講座

2日(土) 午後1時30分

「仏教讃歌を歌おう」

講師 元仏教音楽研究所指導員

神谷 慧師

・仏教婦人会定例法座

7日(木) 午後1時30分

講師 神戸市北区 正光寺

高崎長英師

・別院定例法座

15・16日(金・土) 午後1時30分

講師 六栗郡 妙福寺

宏林教正師

・土曜講座

9・16・23・30日(土) 午後1時30分

講師 神戸別院職員

